

## イニシエーションの重要性

ババジのクリヤー・ヨーガにおいて、イニシエーションの重要性は、見過ごされがちです。イニシエーションは神聖な行為であり、イニシエーションにおいて、人は、真理を知るための手段を初めて体験します。その手段が、クリヤーと呼ばれるヨーガの技法であり、真理は永遠無限なる一者への入り口です。真理は呼び名や形を超えているため、言葉や記号で伝えることはできません。しかし体験することはできるので、自らの真理の体験を分かち合ってくれる教師がすべての人に必要なのです。教師は、生徒が真理を自らの内で体験するための手段、ヨーガの技法という手段を提供するのです。

イニシエーションの間、受け手は気づかなくても、イニシエーター（伝授者）と受け手（生徒）との間には常にエネルギーと意識の伝導が行われています。生徒が疑問や疑いに満ちていたり、気が散っている場合には、効果的な伝導は行われません。そのため、イニシエーターは妨害が最小限になるように、あらかじめ生徒の準備を整えたり、環境をコントロールしたりします。実際、イニシエーターは生徒の意識を自分の意識に取り込み、生徒のメンタル的、生氣的な境界線を拡大させるのです。イニシエーターと生徒の間のメンタル的、生氣的な境界が溶けるようなものです。これによって意識が上位の界層に移行するのが非常に楽になります。こうしてイニシエーターは生徒を魂の体験へと導くのです。たいていの人の場合、魂の経験はベールで覆われてしまっています。生徒は自分の意識が上げられたおかげで、初めて何らかの潜在的意識や潜在的能力を垣間見ます。弟子のクンダリーニー（人間の持つ潜在的な力と意識。脊柱の基底部にあるチャクラ、つまりムーラーダーラに存在している）を上昇させる理由は、これなのです。初めての場合、あまり劇的でないことがほとんどです。しかし、学んだことを実践に移す生徒の熱心さによりますが、時を経て徐々に劇的になっていくのです。

イニシエーションが効果的に行われるためには2つのことが必要です。生徒の準備ができていること、真我を悟ったイニシエーターが存在することです。生徒のほとんどは後者すなわち完璧なグルを見つけることを重要視し、自らの準備についてはほとんど気にかけてません。「自分のためにそれをしてくれる」人、つまり真我実現、あるいは神実現を与えてくれる人を探そうとする人間性の欠点によるものです。グルが正しい方向を指す時、生徒はその方向に進む決心を自らしなければなりません。頭では決心しているけれども、人間性のために気を散らしたり、疑念や欲望にはまってしまうことがよくあります。それゆえ、たとえ完璧な教師を見つけたとしても、信念、忍耐、誠実さ、根気のような質を生徒が身につけていなければ、イニシエーションはコンクリートの歩道に種をまくように、無駄なものになってしまうのです。

こうした理由により、伝統的にイニシエーションは準備のできた者、時には何年もの準備期間を経た者だけに与えられていました。初めのイニシエーションは多くの求道者に与えられるかもしれませんが、より高度なイニシエーションは弟子としての質を身につけた者だけに与えられました。イエスが言っているように「呼ばれる者は多いが、選ばれる者は少ない」のです。弟子道に必要な厳しい要件を満たす者はほんのわずかなのです。

デイボーティ（帰依者、信愛者）とは、道や教師を求めている者です。道や教師を見つげるまでには非常に長い期間を要するかもしれませんが、1人の教師、1つの道に打ち込む準備がまずできなければなりません。品物を比べる買い物客のように、少しずつ見たり、聞いたり、体験したりしながら、ある教師から別の教師へと動き回ります。この段階を経てようやく、弟子となり自らの教師が示した霊的訓練に打ち込むようになります。霊的訓練の結果が現れるまでには長い期間続ける必要があるのです。生徒は訓練、忍耐、教師の援助、神の恩寵の効果を信頼する必要があります。真の教師はいつでも生徒の要望に応える準備や、生徒の要

望に応えることのできる人物を見つける準備ができています。神の恩寵に自らを開く方法を知っていれば、いつでもそれを受け取ることができます。したがって、問題なのは生徒の信念と忍耐なのです。教師あるいはグルは、イニシエーションを通して生徒の成長を後押しし、靈感や刺激を提供することができますが、生徒は信頼と粘り強さを持たなければなりません。

イニシエーションを受けずに技法を学んだとしたら、それは効果のあることでしょうか？ これまで話したことを理解すれば、答えは明らかに「効果はない」ということになります。ゆえに、書籍や、自らが真理の体験をしていない偽りの教師から技法を学ぼうとしても、靈感は与えられないのです。イニシエーターと受け手との間に起こる意識とエネルギーの伝導には技法に力を与える神聖なものがあります。こういった訳でイニシエーションの伝統は世代から世代へと効果的に真理の実体験を伝えることができます。イニシエーションの強みは、熱心に修練を積み真理を悟った者たちの力と意識にあります。イニシエーションで学んだことを規則正しく熱心に実践し、イニシエーションに敬意を表すことは、自らの高位我に敬意を表すことなのです。

マーシャル・ゴヴィンダン・サッチダナンダ 2002年